

# 相模川の石ころ

手元に、一個の石があります

ちょっと小ぶりで、姿かたちが気に入り

ペーパーウエイトに使っています

時々、撫でたい、眺めたい…

相模川の川原で拾ったものです

また、探しに行きたくありません

2022. 12. 8

島田祥生

A wide river with a rocky bed and a city skyline in the background. The river flows from the left towards the center, with a large, dark, rocky island in the middle. The background shows a city skyline with several tall buildings under a clear sky. The foreground is a grassy bank with some small trees and bushes.

横浜から相鉄線で海老名へ

そこから小田急で一駅の厚木で下車

相模川の左岸をちょっと遡ると、格好の河原があった、はずが

行けども、行けども、無い！

河川敷を整備していて様子が変わってしまっていた

結果的には、このような綺麗な川原に辿り着けました

遠くに厚木市街が霞んでいます

川原に着いて最初に見つけた、キュートな石

まんまるで扁平、お餅のような形です

花崗岩の一種で、「石英閃緑岩」と言うようです



この石は、「トータル岩」といって、神奈川県の花だ、と教えてもらいました

<http://geosociety.jp/name/content0149.html>

丹沢がフィリピン海プレートに乗って本州にぶつかった時に

マントルから貫入した深成岩 だそうです



この石を見つけたときの記念写真

周りの石もバラエティーに富んでいてみんなカワイイ！

このような中から

ペーパーウエイトに使えそうな

大きさと、「景色」のいい石を探し回って…

目移りするような石ばかり！

いい川原でした



「安山岩」

白い斑晶は、「斜長石」だそうです



前に出ていた「石英閃緑岩」と同じ組成

結晶の大きさが違うだけで

まるで別ものに見えます



白い脈が目立って気に入りました

「閃緑岩」らしい

白い脈は、ガラスの主成分の石英



荒い砂粒で

白色、褐色、黄土色、黒色、灰色など

さまざまな色の違う砂粒が混じって

堆積して石になった「砂岩」





「石英」

カッターで傷がつかないくらい硬い

上流から、他の石に揉まれながらも

丸くならず「角を張って」いる



黒く目立つのは「角閃石」という結晶

石のもとには、殆どが「斜長石」の結晶とのこと

火成岩の一種「玢岩(ひんがん)」



小さい穴が無数にあいている

「玄武岩」

「ただの石ころじゃん」というなかれ

ルーペで見ると結晶がいっぱい



堆積岩の一種の「礫岩(れきがん)」らしい

それにしても、大きな結晶が気になる



「黒雲母片岩」

層状になっていて剥れやすく扁平です

火成岩や堆積岩が地中深くに入り込んで

高い圧力や熱を受けてできた



こんな石も見つけました

石英閃緑岩と閃緑岩らしい

火成岩のまさにコラボ



「角ばっていますが、「石の目」に沿って割れて行ったから  
まるい、扁平、角々など、石の成り立ちが垣間見られます  
堆積岩の一種の「軽石質凝灰岩」ではないでしょうか



もみくちゃになった白い石英が目立つ

堆積岩の「頁岩(けつがん)」

硬いので、丸くならなかった





とにかくざっざっしている

「火山礫凝灰岩」

火山灰と火山礫でできている堆積岩

よく分からないものが固まっているようで

眺めていて飽きない！



これはなんだ！

結晶の小さい「閃緑岩」に石英が

多分大きな脈だったのだろうが

川を転がっているうちに。石英脈から割れてしまった

想像が豊かになります



石英の脈が入ってる

「石英閃緑岩」らしい

火成岩にはこのような石英脈が入っているものが珍しくない



堆積岩の仲間

「礫岩(れきがん)」です

色も形も違う石片が混じっていて

何故か見入ってしまいますね



これは何か

小さい深い穴がいっぱい

火成岩らしいのですがよく分かりません



粒が大きな「砂岩」

堆積岩は、粒の大きさと種類が多様で

同定に骨が折れます

まちがっていたら、すみません



これも「石英閃緑石」

ルーペで見ると結晶がきれい



ペーパーウエイトに使っている「閃緑岩」

下面を平らにして、耐水ペーパー# 1000で仕上げ

石の「濡れ色」も楽しんでいきます





今回、色々な石に出会いました

何の石か調べるのが大変

堆積岩、火成岩、変成岩、などなど

ちょっとした地球のいたずらで、石相の違うものが出てしまう

川原って、数億年の地質の歴史が読み取れる場所なのですね

参考&引用:「川原の石ころ図鑑」ポプラ社